

2021 年度 一般選抜中期日程/国際商学科 英語
出題の意図と解答の傾向

英語を実際に使用する能力が身につけているかを見るために設問も全て英語とした。

I (160点)

問1 (20点)

【解答】

A. offered B. remained C. believed D. accepted

【解答の傾向】

英文の内容の推移を正確に読み取った上で、流れに応じた適切な語彙を選び、適切な文法形式が記入できるかを問う問題。読解力、語彙・文法能力の有無が解答に反映するものと思われる。

単語の選択問題であるが、正解率は予想したほど高くはなかった。単語の正しい選択、語尾変化とも全て正解だった解答は3割程度であった。Cのbelieved、Dのacceptedなど、2問正解は多かったが、Bのremainedの誤りが多かった。remained relatively unknownであるから、「remain + 形容詞」の形を思い起こしてほしい。また、語尾変化の際のスペルエラーも一定数見られた。

問2 (25点)

【解答例】

海外のメディアは、その傾向を、健康上の危機に打ち勝とうとする人たちの間の結束の一例とみている。

【解答の傾向】

view が述語動詞であるということを見極められるかどうかの一つ目のカギとなる。さらには trying to overcome の部分が前の名詞 people を修飾していることを理解できているかが二番目のポイントとなる。view A as B で「AをBとみる」と考える。

前文に具体的に示してある「その傾向 (the trend)」は、「健康上の危機に打ち勝とうとする人たちの間の結束 (unity among people trying to overcome the health crisis)」の一例という関係にあるが、この関係が逆転し、前者の例が後者であるように思われる訳は誤りとして大きく減点した。さらに unity のここでの訳は、「結束・(一致) 団結」などが自然であるが、「協力・連盟・連帯感・共同体・組織」などのように求めている意味から少しズレた訳もあり、減点の上、許容した。trend のここでの訳は「傾向・風潮」などが自然であるが、the trend が指す文脈をとらえて「流行」と訳したのも当然よしとした。また、health crisis にある crisis のここでの意味は「危機」であり、health crisis は「健康上の危機」という訳が自然である。health crisis に対して、「健康被害・健康犯罪・健康問題・健康災害」などいろいろな訳があったが、これらの訳も減点を加えた上で許容した。overcome は、「打ち勝つ・克服する」など正しく訳されているものが多かった。

問3 (20点)

【解答例】

アマビエが、人々に自分自身の絵を描いて、それを他者に見せるように言ったという事実は、最近のメディアの傾向とうまく合う。

【解答の傾向】

前文の Q と A がうまく読み取れていれば 2 番目の理由として理解しやすい。文法・語法的なポイントとしては「the fact that 主語 + 動詞」の部分がセンテンス全体の主部となっていて、述語動詞が sits well with であるということが理解できているかを問うている。さらに「tell + 人 + to 不定詞」の部分の不定詞が 2 つあることも気づいてほしかった。sits well with は少し難しいが、文章の筋を追っていくと「うまく合う」というのは想像がつく。

この文章構造では、主部は the fact that Amabie told people to draw a picture of itself and show it to others で、その述語動詞は sits であるが、この関係を捉えそこねた解答がかなりみられた。また、主部の that 節中にも、もう一つの「主語 Amabie + 動詞 told (過去形)」があり、「アマビエ」が「人々に言った」ことは、to draw a picture of itself と to show it to others の 2 つである。しかし、後者を主語 Amabie の動詞ととらえて「アマビエがそれを他者に見せる」、あるいは「～見せた」などとする誤答がみられた。sits well with the current trend in media は、「最近のメディアの傾向とうまく合っている」などと訳せるが、「最近のメディアの流行となっている」や「最近のメディアのトレンドとして定着している」などの解答がみられ、減点の対象になった。current を「正しい」や「正確な」などとする語訳もみられた。

問4 (25点)

【解答例】

When you look at it for the first time, it's hard to believe that it was drawn during the Edo period.

【解答の傾向】

When の従属節と it's hard to believe ~ の主節の形がきちんと組み立てられているか、it is ~ to 不定詞の文が作れるか、believe that 主語+動詞の正しい使い方ができているか、for the first time 「はじめて」、the Edo period 「江戸時代」などの表現が適切に使えるかなどを評価のポイントにした。

まず when の節の主語は I よりも you か we が適切だと思われるが、I を主語にしているものが多かった。半数程度は when の従属節と主節からなる構成がきちんと出来ていた。it is ~ to 不定詞の形も半数程度はできていた。受動態の「描かれた」「was drawn」が was written、is drawn、has been drawn などとなっているものなどが頻繁に見られた。また for the first time 「はじめて」の代わりに、first、at first、firstly、「(順番として) 一番に、最初に」なども多くあった。江戸時代は the Edo period が最も適切であろうが、正答は多くなかった。

問5 (25点)

【解答例】

怪物が何か悪いことが起こる前に出現するという考え方は、日本の考え方と似ている。

【解答の傾向】

「The way of thinking that 主語 + 動詞」が主部となっており、述語動詞は is (similar) to の部分であるということが把握できているか、前述の名詞の言い換えに用いる代名詞の that of が何を指すか理解できているかを設問のポイントにした。

全体的に見て、半数以上の受験者がほぼ完璧な答案を書いていた。特に「何か悪いことが起きる前に怪物(モンスター)が現れる」という部分はほとんどの受験者が正答していた。他方、設問は that of が何を意味するかを明らかにしたうえでの和訳を求めているにもかかわらず、間違えた受験者も多かった。that は the way of thinking を指すので、that of Japan's 「日本(人)の考え方」となり、そこまで書けていたら十分とした。一歩進めた「日本人の妖怪に対する考え方」も、もちろん可能。that を「妖怪」ととらえた答案も散見された。

問6 (10点)

【解答例】

a (I think there are three key points to answer here.)

【解答の傾向】

文中の応答箇所の前後を読み取り、適切な質問、答えを類推する能力があるかどうかを問う問題。この問題では、質問に対する答えが順に列挙されているので、答えを見つけるのは容易であろう。ほとんどが正しく回答できていた。

問7 (10点)

【解答】

c (Are yokai legends associated with plagues unique to Japanese culture?)

【解答の傾向】

問6と同様に、文中の応答箇所の前後を読み取り、適切な質問、答えを類推する能力があるかどうかを問う問題である。Qに続くAの段落を丁寧に読むと正解を導くのは難しくはないと思われるが、正しく回答できているものは非常に少なかった。a)、b)、d) いずれの誤りもあったが、特にd) と答えているものが多かった。

問8 (25点)

【解答例】

ウィルスの流行で家にいる必要が生じ、なんらかの遊びが必要になったから。

【解答の傾向】

設問文は、「妖怪博士によれば、アマビエが世界中から注目 (worldwide attention) を集めた理由は何か、日本語 60 字以内で回答せよ」となっている。worldwide attention というキーワードからわかるように、2 頁下から 2 行目の問いに対する妖怪博士の答えの内容を把握し答える必要がある。

解答の傾向をみると、きちんと完答できているものは少数であった。以下、典型的な誤りの例を挙げておく。

◆問題文をきちんと読めていない

- ・英文で回答している。
- ・60 字を (大きく) 超過している。
- ・妖怪博士の述べた理由ではなく解答者の私見が述べられている。
- ・妖怪博士による当該箇所の回答以外の箇所から解答を導いている (アマビエがゆるキャラに似ているなど)。

◆英文をきちんと読み取れていない

- ・rather A than B を「A というよりむしろ B」と勘違いしている。結果として、アマビエが信仰や悪魔払いの一種として受容されたと述べている。
- ・recreational を「再創造的、創造的、創作的、生産的」などと誤訳しているものが非常に多かった。「レクリエーション」は既に日本語としても定着しているので意外であった。
- ・妖怪博士が「ソーシャルメディアにアマビエの絵を投稿する人々が、それを描くことによって病気の発生を防ぐことができると信じている」と考えているという誤解も散見された (2 頁、一番下の行に「I don't think」とあることを見逃している)。
- ・その他、細かな理解不足は多数あった。

◆説明が不足しているもの

- ・「アマビエを描いてソーシャルメディアに投稿し共有する人がいるから」というだけの回答もあったが、これだけでは説明が十分ではない。求められているのは、なぜ人々がアマビエの絵を描いて共有したのか。その理由である。

◆誤字など

- ・「娯楽」を「呉楽」、「誤楽」、「家にいる間」を「家にいる間」などの誤字が散見された
- ・日本語作文のミスも散見された。助詞の使い方等には気を付けること。

II (40点)

【出題の意図】

この問題を通じて受験生は意見や理由を明確に述べられるかどうか、限られた時間内にアイデアを十分に展開させられるかどうか、段落を論理的に構成できるかどうか、また書かれた英語が十分に通じるかどうかを見た。「内容」「構成」「言語力」を中心に、40 点満点で解答を総合的に採点した。

「内容」については、意見や理由、詳細を十分に説明し、論理的に展開させているかを中心に

評価した。「構成」については、論理的展開になっているか、そうさせるための「つなぎのことば（接続詞、接続副詞、指示語句など）」が正確に、また効果的に使われているかどうかを中心に評価した。「言語力」については、解答を読んで意味が理解できるかどうか、文法・語彙・綴り・コンマ、ピリオドなどが正確に適切に使われているかどうか、適切な言い回しや語彙を使っているかどうか、使った場合はどのくらい正確に使えたかなどを中心に評価を行った。

【解答の傾向】

まず、全体の構成については、導入部分・本文・結論という構成で、また、「つなぎのことば」を用いて、解答を論理的に構成しようとした受験者が多く見られた。ただし、「つなぎのことば」に関しては、綴りや文法ミス、間違った使用方法等が散見された。

内容については、時間制限があるにも関わらず、意見を深く説明しようとした解答が多くあった。中にはとても上手に説明を展開した解答もあった。しかし、非論理的な展開になってしまった解答も一定程度あった。

言語力については、不満が残る解答が多かった。綴りや基礎的な文法ミスが多く見られた。その中、以下のような間違いが特に目立った。（正しい書き方の例も記載しておく。）冷静になって考えれば、主語に問題があることにはすぐに気づくはずである。外国語で文章を書くときは、文法にも十分に注意を払い、書いたものにしっかり目を通し、ミスに気づけるようになることが大切である。そのためには文法の基礎トレーニングをしかり行う必要もある。

- × Face to face classes can talk with other students.
- In the case of face to face classes, we can talk with other students.
- If face to face classes are held students can talk with their classmates.
- If face to face classes are held there will be chances to talk with other students.

- × Online classes don't need to commute to school.
- In the case of online classes, students don't need to commute to school.
- If students take online classes they will not need to commute to school.

- × Online classes is able to study anytime and anywhere.
- In the case of online classes, students are able to study anytime and anywhere.
- If students take online classes they will be able to study anytime and anywhere.